

山行報告書

山行報告提出者：鈴木

山 域・山 名：奥穂高岳（涸沢で下山 長野県松本市）	
入山日：2025 年 5 月 1-2 日（木-金） 1 泊 2 日	
プラン担当者 正：鈴木 副：涸沢ヒュッテとテント場	
参 加 者	L：発表：報告書：鈴木 久保 男 2 名、女 名、計 2 名
	
天候：5/1 晴れ 無風 5/2 曇 小雪 弱風	
5/1（木）	AM3：00 出発
5/1（木）	上高地 8：20 発-11：20 横尾- 16：00 涸沢着 テント設営 行動 7h40m
5/2（金）	6：00 涸沢発-6：30 ザイテングラート下（悪天のため下山）-8：00 涸沢発- 10：40 横尾-14：20 上高地 帰宅 行動 8h20m
荒天候時のエスケープルート：各小屋に避難、または涸沢で待機。	
装 備 と 食 糧	共同装備：30m x 8mm x 2 ロープ、スノーソー（鈴木持参） 共 同 食： 車提供者：鈴木
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、ソロテント（要雪用ペグ）、 シュラフ、マット、ピッケル、アイゼン、ストック、ゴーグル、バラクラバ、グローブ、 スコップ、テルモス、クッカー一式、ハーネス、環付カラピナ 2-3 個、ATC、 スリング 120cm x 2、ヘルメット、アタックザック 個 人 食： 5/1, 2 朝昼夜 5/3 朝昼 計 8 食、予備食、行動食
感 想	5/1 上高地から歩き始めると好天の中、猿たちがお出迎え、親に抱かれた子猿の表情が愛 くるしい。横尾から少し歩いた急登でアイゼンを装着、以前より残雪が多い印象である。 本谷橋では対岸へ渡れず少し左岸を歩く。そこから涸沢までは疲労のため休み休みでやっ との思いでテント場に着いた。テント設営後、中でまったり休むが足のあちこちが攣り始め、 加齢の衰えをつくづく感じる羽目に。 5/2 もともと悪天予報であったが起床時まあまあの天候のため、ダメもとでコルに向け 歩き始めた。ザイテン手前で雪が降り出し、上を見上げてても稜線はガスで見えず、登頂を 諦め下山した。20kg のザックでの雪道歩きは長時間は無理だとつくづく感じる山行であ った。帰路の車中で豪雨となり、歩行中で無いことに安堵した。